

平成27年2月1日現在の世帯数と人口

(千種区 18.23Km²)

学区名	世帯数	人 口			対前月増減	
		総数	男	女	世帯数	人口
1 千 種	5,033	8,548	4,314	4,234	11	2
2 千 石	3,404	6,762	3,401	3,361	△ 22	△ 30
3 内 山	4,921	7,148	3,879	3,269	8	16
4 大 和	3,188	6,487	3,243	3,244	△ 4	△ 14
5 上 野	7,182	15,374	7,533	7,841	△ 11	△ 24
6 高 見	6,766	13,045	6,293	6,752	20	30
7 春 岡	6,436	10,536	5,641	4,895	6	14
8 田 代	11,247	21,476	10,290	11,186	△ 10	△ 22
9 東 山	9,677	18,983	9,268	9,715	△ 10	△ 5
10 見 付	4,319	8,330	4,185	4,145	5	13
11 星ヶ丘	3,345	6,586	2,956	3,630	5	8
12 自由ヶ丘	3,487	7,659	3,506	4,153	6	2
13 富士見台	6,352	15,602	7,228	8,374	△ 1	3
14 宮 根	3,710	8,428	3,988	4,440	△ 1	6
15 千代田橋	3,574	8,650	4,047	4,603	△ 5	0
千 種 区 計	82,641	163,614	79,772	83,842	△ 3	△ 1
H26.2.1	81,870	162,995	79,322	83,673	△ 77	△ 62
対 前 年 比	771	619	450	169	74	61
名 古 屋 市	1,046,879	2,277,077	1,121,763	1,155,314	△ 99	△ 518
愛 知 県 (H27.1.1)	3,032,051	7,446,523	3,719,813	3,726,710	199	△ 638

前月中の増減内訳	自然動態			社会動態		
	出生	死亡	自然増減	転入	転出	社会増減
	122	148	△ 26	757	732	25

【参考】

国勢調査千種区人口				これまでの最大人口	
昭和50年	168,861	平成7年	148,847	173,598 (昭和50年2月1日)	
昭和55年	166,837	平成12年	148,537		
昭和60年	163,762	平成17年	153,132	これまでの最少人口	
平成2年	156,478	平成22年	160,015	146,727 (平成11年4月1日)	

注) 世帯数と人口は、平成22年国勢調査結果を基礎として、毎月の住民基本台帳人口の異動数を加減して推計したものです。(平成24年7月中の集計までは、毎月の外国人登録の異動数も加減して推計しています)

千種区の性比の現況および推移

平成 27 年 2 月 1 日現在の千種区の世帯数は 82,641 世帯、人口は 163,614 人となっています。今回は、千種区の性比（女性の人口を 100 とした場合の男性の人口数）の現況を名古屋市全体および各区と比較し、過去 13 年間の推移を示した上で、各学区の平成 17 年および平成 27 年の性比をみてみます。

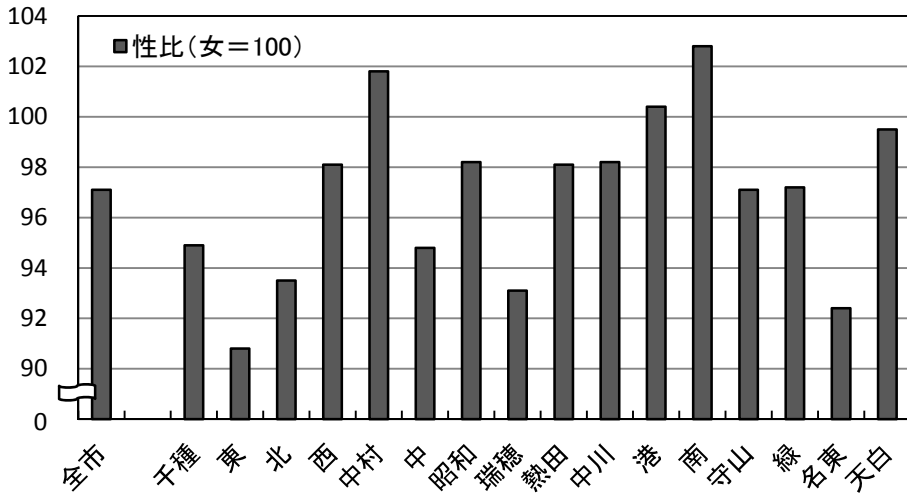


図1：名古屋市全体および各区の性比（平成 26 年 10 月 1 日現在）

千種区の平成 26 年 10 月 1 日現在の性比は 94.9 となっており、これは千種区において女性の人口の方が多いうことを意味します。図 1 をみると、千種区の性比は名古屋市全体を下回っており、16 区中 6 番目に低い値となっています。性比が最も高いのは南区（102.8）、最も低いのは東区（90.8）です。

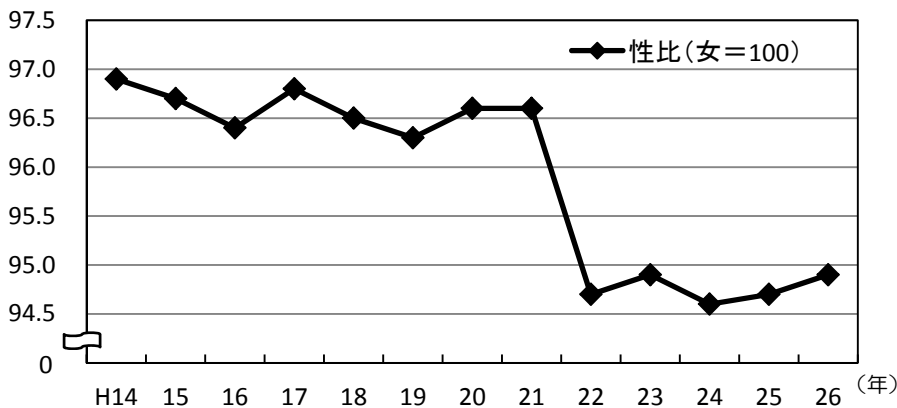


図2：千種区の性比の推移（平成 17 年 10 月 1 日～平成 26 年 10 月 1 日）

図2では、千種区全体の性比を平成 14 年から平成 26 年まで示しています。これをみると、平成 21 年まではおよそ 96.5 前後で推移していますが、平成 22 年からは 95.0 を下回るようになったことがわかります。

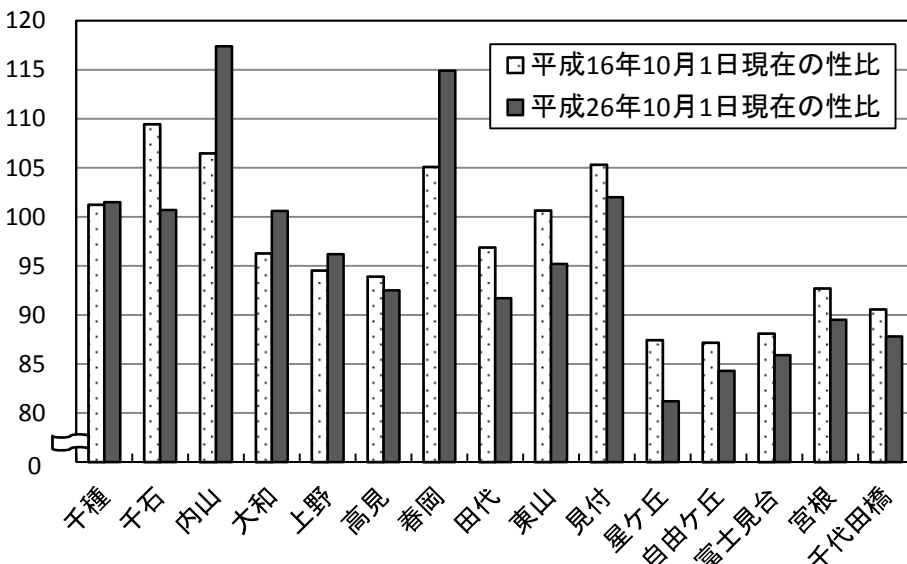


図3：各学区の性比の比較（平成 16 年 10 月 1 日および平成 26 年 10 月 1 日）

次に、千種区内の各学区の性比をみてみます（図3）。平成 26 年 10 月 1 日現在で性比がもっとも高い学区は内山学区（117.4）、もっとも低い学区は星ヶ丘学区（81.2）でした。また、平成 16 年 10 月 1 日現在でもっとも性比が高い学区は千石学区（109.5）、もっとも低い学区は自由ヶ丘学区（87.2）でした。両年を比較すると、10 年間で性比が高くなった学区は 5 学区、低くなった学区は 10 学区でした。